



三條別院のご案内

真宗大谷派三條別院

TEL : 0256-33-0007

Email : sanjo-beisun@wing.ocn.ne.jp

三條別院に想う

汗の滲む手で綱手を一気に振り下ろす。朝の静寂の空気を切り裂いて、今日も街に鐘の音が鳴り響く。生来の気の弱さからか、何度やっても思い切り鐘を強く突くことができない。眠りを妨げられたといって誰かが怒鳴り込みに来るのではないかというお粗末な不安があったのだ。鐘を突き終え、晨朝の準備に戻ろうとすると、遠くの方から別の鐘の音が聞こえてくる。どこかでも誰かが同じような気持ちで鐘を突いているのだろうか。

二年前の三條別院での朝の光景を懐かしく思い出している。私は本山の事務を取り扱う宗務役員であるが、宗務役員は事務見習いという研修期間中に二カ月間、教務所実習を経験する。そういった縁で私は三條教務所に実習に来た。思えば、自分の研修先が三條教務所であると伝えられた時に、最初に心に浮かんた感情は戸惑いであった。見知らぬ土地に住む不安なのか。不安を抱きながらも三條での生活は始まった。一日は別院の晨朝の準備から始まり、日中は事務仕事を勉強し、夜は三條市内を散策したり、本寺小路で飲んだり…。

瞬く間に日は流れ、実習期間も終盤に差し掛かり出した頃、いつしか消え失せていた当初の

不安について考えた。誰も知り合いがない、見知らぬ土地で自分はいまよくやっていけるのだろうかという心であるが、その内実は、その土地は自分を楽ませてくれる場所であるのかというエゴイズムであった。すなわち自分が見知らぬ土地でどういふ態度で過ごすかということの問題にせず、場所や人間関係といった環境に責任を押し付けようとしていた。問題は場所や環境でなく、自分の心持ちや態度であったことに最後になってようやく三條の街と人に気付かせてもらった。親鸞聖人の「ただ信心を要とすと知るべし」という言葉が生きる態度への言葉として、自らの驕りに反省を促す。フランクがその著書で述べた、自分はまだ人生に何を期待できるのかという視点から、自分は人生から何を期待されているのかという転換への兆しを経験させてもらった三條の街とそこで出遇った方々への感謝をもって文章を終わりたいと思う。

北風 亨氏 (山陽教区願成寺)

▲一昨年教務所の事務見習いで来た北風氏に執筆していただきました。

○次回の「三條別院に想う」は、

小原 暁氏 (三條教区第十六組 存念寺) より

「ご執筆いただきます。」

三條別院公開講座のご案内

「今年の三條別院公開講座の講師は、あのカンジャマ・マイム代表の藤倉健雄氏です！NHKテレビ「お母さんといっしょ」の身体表現コーナー「パント！」のマイム振付、指導として参加されています。現在のテーマは笑いと教育の融合で、日本に「教育演劇学」という分野がなかったため、アメリカのニューヨーク州立大学演劇学部修士課程を経て、ウイスコンシン大学演劇学部で博士号を取得されています。悩みがあるとインドに行くというほど仏教にも造詣が深い藤倉氏。自身の破天荒な経歴・人生の歩みと、パントマイム・身体・教育・仏教などを縦横無尽に語ってもらう予定です。これまでの公開講座では「心の問題と仏教思想」「アメリカ仏教」などをテーマにしてきましたが、「心」と「身体」は密接に関わっていて、アメリカでは身体の体験としての仏教が人気を集めています。「身体」の専門家であるパントマイム芸人の藤倉氏は、仏教について何を語ってくれるのか？お楽しみに！

◆五月十九日(土) 三條別院本堂 午後二時～
▲詳しくはチラシ・ポスターをご覧ください。



『えんがわカレンダー』に入れてもらいました

別院の行事を市の広報等で知らせることはできないかと模索していたところ、『えんがわカレンダー』に載せていただくことになりました。

ちようど北三条駅前のステーションがわの行事予定表がリニューアルということで、①歩いてめぐれる6施設&ちよつと離れた3施設のイベント情報を集約、②月に1度のえんがわオープンカフェを開催、③毎月テーマカラーを定める各施設が色でつながるイベントを開催、と計画されている中に、三条別院も、三条鍛冶道場、三條市立図書館、歴史民俗産業資料館、T R E E、中央公民館、三條ものづくり学校、道の駅庭園の郷保内、さぎの湯しらすぎ荘と共に、参加させていただくことになりました。四月はえんがわカフェがプレ開催で、クラシックカー展示などがありました。五月十三日(日)は、定例法話、永寶卓氏の「良寛の出生と出家」同日に行われるので、いままで以上の方がお参りに来るのではと思っています。本寺小路のバー・キーウエストでも、十二日(土)、十三日(日)にオリジナル・カクテル「三条別院の赤い炎」が提供され、飲んだ方に記念品が贈られます。いろいろな施設と協力して、三條の街が盛り上がり、別院にも多くの人が来てくれればと思います。多くの人が来る前に、こつやつて既に交わりは始めていることが、大きな意味を持つ気がします。



宗祖御命日のつどい

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会を開いております。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。なお、前日(二十七日)はお逮夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

◆日時 五月二十八日(月) 午前十時より

◆会場 三條別院 本堂

◆お勤め(御命日) 日中法要

文類偈 行四句目下

念仏讚 洵五

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

村手 淳史氏(第二十組光圓寺)

『歎異抄』に聞く 第八章

▲『歎異抄』に聞くをテーマに、各講師一章ずつ担当してお話しいただいています。

◆今後の講師一覧 『歎異抄』に聞く

六月 大久保州氏(佐渡組廣永寺) 【第九章】

定例法話会

毎月十三日の前門首のご命日(両度の命日)に行っている定例法話会を左記の通り開催いたします。

◆日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く
午後一時三十分より(二時間程度)

◆場所 三条別院 旧御堂
◆講師

五月～七月 永寶 卓氏 (第十組浄敬寺)

「良寛の出生と出家」(5月)

「良寛の教え」(6月)

「良寛と真宗門徒」(7月)。



▲出雲崎良寛記念館館長代理の永寶氏によるお話です。

▲5月はステージえんがわを中心とした町歩き企画の「えんがわカフェ」と同時開催です！

その他の講座案内

○別院声明教室(全五回・途中参加可能)

(月一回、午後六時～八時)

二月二十一日(水)〔済〕、三月二十日(火)〔済〕

四月十八日(水)〔済〕、五月十六日(水)、六月十三日(水)

講習内容 真宗大谷派勸行集(赤本)

講師 中富正純氏(第二十二組福照寺)

参加費 五〇〇円/回

○別院書道教室

(月二回第一、第四水曜日、午後六時三十分～八時)

講師 木原光威氏(新潟県書道協会理事)

月謝 二七〇〇円(テキスト代含む)



随時募集中

○別院奉仕研修

日程及び内容についてはご相談ください。

◎冥加金 日帰り一五〇〇円、一泊二日二五〇〇円

◎食事代(昼・夕食は業者発注)

・朝食代 五〇〇円、昼食代 一〇〇〇円程度

・夕食代 一三〇〇円程度

○庭講「毎月十三日」

ご一緒に別院のお庭を整備していきませんか？

○三条別院有志の会

月一回の例会、別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの

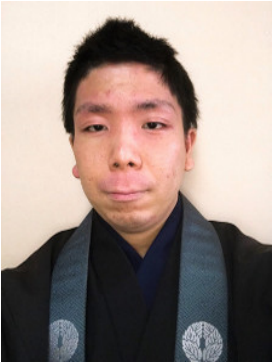
懇親会を行っております。

○三条別院巡回

三条別院から御本尊(絵像)をお迎えして、開法会を開

催しませんか？ 輪番と随行一名でお勤めと法話を行います。

三条別院新職員のご紹介



五月七日付で三条別院の列座に嘱託として働くことになりました、廣河敦と申します。出身は新潟市の沼垂という町で、お寺は二十組の光照寺です。次男として生まれました。列座の作法など、不勉強のため至らない点多々あるかと存じますが、一刻も早く仕事を覚え皆様のお力になれたらと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

◆◆編集後記◆◆

世間では春は別れと新たな出会いの時期です。別院でも二月の書記兼列座の森尻さんの退職に続き、四月に非常勤(前役職・会計)の有坂さんが退職されていきました。森尻さんとは三年、有坂さんとは四年程でしたが、その間、とても濃厚な時間を共に過ごさせていただきました。特に、有坂さんには会計について、会計のイロハもよくわからなかった私に、ヤキモキしながらも粘り強く色々とお教え続けて下さったことは感謝しかありません。

六つ並んでいる机のうち半分が空きになってしまいました。

そんなすっきりと寂しくなってしまった別院に新たな仲間として廣河さんが加わってくださることになりました。卒業したばかりの初々しい姿にこちらも気持ちが変わる思いです。

来月には境内地内の駐車場整備も完了します。新たな仲間と新たな姿になった別院で、皆様をお待ちしております。
(松浦)

三条教区通信

第129号

発行日 2018年5月11日
発行者 三条教務所長 森田成美
発行所 真宗大谷派三条教務所
〒955-0071 三条市本町2丁目1-57
E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp
Webサイト: http://sanjobetsuin.or.jp/

三条教区 🔍

今月の法語

〔真宗教団連合『法語カレンダー』より〕

によらい
かの如来の
ほんがなりき かん
本願力を観ずるに
ぼんぐもうお
凡愚遇うて
むな す
空しく過ぐるものなし

『入出二門偈頌』親鸞聖人

Once realizing the power of the Tathāgata's
Primal Vow, Nobody can pass it by untouched.

Hymn of the Two Gateways of Entrance and Emergence,
Shinran Shōnin

教区門徒会のお知らせ

去る4月1日の改選に伴い、新たに各組門徒会から選出された教区門徒会員が任期初めの教区門徒会臨時会(4月25日、教区同朋会館にて開催)に参集し、正副会長及び常任委員の互選を行いました。

また、臨時会の後には、4月30日に任期満了となる参議会議員の選挙会が開かれ、推薦により3人の当選者が決定されました。

教区門徒会の新たな役員は次の方々です。

田伏研二	会長	(第15組 淨覺寺)
廣井 肇	副会長	(第13組 万休寺)
庭山知信	常任委員	(第10組 聞光寺)
稲垣一義	常任委員	(第11組 淨圓寺)
丸山 誠	常任委員	(第15組 大專寺)
徳永正人	常任委員	(第17組 城願寺)
伊藤猛治	常任委員	(第23組 廣泰寺)
樋熊 猛	常任委員	(第24組 西永寺)
奥田富子	常任委員	(佐渡組 勝廣寺)
白井信幸	同補充員1	(第13組 妙宗寺)
松尾正行	同補充員2	(第19組 長福寺)

参議会議員の当選者は次の方々です。

上野正興 参議会議員(5期) (佐渡組 専念寺)
相澤幸二 参議会議員(3期) (第10組 専徳寺)
金巻拾子 参議会議員(1期) (第23組 無爲信寺)



当選証書を受け取る金巻拾子氏(写真中央)

新参議会議員の方々には『真宗』誌 2018年7月号の「新参議会議員の顔ぶれ」欄にて、議員活動にあたっての抱負と併せ紹介されます。

三条教区災害対策委員会のお知らせ

お見舞い

今冬の大雪・暴風のお見舞いを申し上げます。
被害状況を把握いたしたく存じますので、寺院・教会・御門徒様の被害等がございましたら、各組長様までご報告くださいますようお願いいたします。

災害支援実行委員会の活動にご協力ください

主に春と夏の保養事業を活動内容としております災害支援実行委員会の活動資金収入であります災害救援・復興カンパ金につきまして、2017年度においてご協力いただいた金額は213,060円となりました。御礼を申し上げ、今後とも皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

東日本大震災及び熊本地震については、宗派の救援金口座も引き続き設けられておりますので、教区と同様に何卒ご協力の程、お願い申し上げます。

宗派 東日本大震災救援金口座

【郵便振替口座番号】01030-4-2244

【加入者名】真宗大谷派宗務所財務部(救援金)

宗派 熊本地震救援金口座

【郵便振替口座番号】01010-0-2608

【加入者名】真宗大谷派宗務所財務部

研 修 会 の ご 案 内

■ 新潟地区女性研修会

案内既送

- ◆日 時 2018年5月15日(火)10:00～
- ◆場 所 第19組 明誓寺
- ◆講 師 齊藤 研氏(第15組正樂寺)
- ◆対 象 どなたでも
- ◆問合せ 三条教務所(担当:宇佐美)
申込は締め切りました。

■ 「差別と真宗」基礎講座(第17組開催)

案内既送

- ◆日 時 2018年5月19日(土)
- ◆場 所 第17組城願寺
- ◆講 師 藤岡正典氏(佐渡組浄願寺)
- ◆対 象 どなたでも
- ◆参加費 500円
- ◆問合せ 三条教務所(担当:高田)

■ 「是旃陀羅」問題に関する三条教区学習会

案内既送

- ◆日 時 2018年5月21日(月)14:00～
- ◆場 所 三条別院旧御堂
- ◆参加費 500円
- ◆対 象 どなたでも
- ◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

■ 若坊守・准坊守のつどい

案内既送

- ◆日 時 2018年5月24日(木)10:30～
- ◆場 所 三条別院
- ◆講 師 海 法龍氏(東京教区三浦組長願寺)
- ◆対 象 若手寺族
(准・若・坊守、僧侶等立場・性別問わず)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:宇佐美)
申込は締め切りました。

■ 仏青交流研修会(お坊さんはスパ研にいる)

- ◆日 時 2018年5月25日(金)18:00～20:00
- ◆場 所 三条スパイス研究所
新潟県三条市元町11-63 電話 0256-47-0086
- ◆対 象 青少年教化に携わる方
- ◆参加費 無料。申込不要
- ◆問合せ 三条教務所(担当:天兒)

■ 児童指導者研修会

案内/申込用紙既送

- ◆日 時 2018年5月29日(火)～31日(木)
- ◆場 所 教区同朋会館・真宗仏光寺派瑞林寺(小針)等
- ◆講 師 立石徳秀氏(第14組安樂寺)
廣澤晃隆氏(真宗仏光寺派瑞林寺)
- ◆対 象 児童教化に携わる方
- ◆問合せ 三条教務所(担当:天兒)
申込は締め切りました。

■ 東北連区真宗保育研修会

大谷保育協会加盟園にご案内

- ◆日 時 2018年6月2日(土)～3日(日)
- ◆場 所 三条別院
- ◆講 師 真城義麿氏(四国教区東予組善照寺)
- ◆対 象 大谷保育協会東北連区支部加盟園職員
- ◆問合せ 三条教務所(担当:宇佐美)

■ 御坊市 2018

案内 同封

- ◆日 時 2018年6月23日(土)・24日(日)
両日 10:00～16:00
- ◆場 所 三条別院

- ◆対 象 どなたでも
- ◆問合せ 三条教務所(担当:天兒)

■ 教区女性研修会報告

女性研修会部門スタッフ 駒澤晴子(第15組光正寺)
3月29日、三条別院を会場に教区女性研修会を開催しました。講師に九州大谷短期大学学長の三明智彰氏をお招きし、正信偈に学ぶ「生まれた意義と喜び―出世本懐―」の講題に、89名ものご参加をいただきました。女性研修会部門スタッフは全員女性ですが、研修会には男女を問わずご参加いただき、法座は初めてという方から、何年も聞き続けてこられた方まで幅広い方々が旧御堂を満堂にしてくださいました。



講師の三明智彰氏 於旧御堂

講義は、正信偈の[如来所以興出世 唯説弥陀本願海]の二句のお意(こころ)をたずねていくことから始まり、出世本懐とは、釈尊が生まれてきた根本目的であり、如来がこの世にお生まれになったわけは“ただ弥陀の本願海を説くためである”と親鸞聖人がはっきりと示されている。しかしながら、先生が強調されたことは、説くということだけでは真実にならないということです。尊者阿難が座より立たなければ浄土真宗の教えは成り立たない、お念仏の道が明らかになったのは、阿難が座より立ち、良い質問をしたおかげ(浄土和讃 大経意 二十二首の第一・第二首目、真宗聖典 P483 中段)であり、釈尊の出世本懐は、同時に仏弟子阿難の出世本懐として話題にすべきことである。説く人と聞く人が一つになること、つまり聞く人がいて初めて成り立つ“説聴一如”ということと、教えと人がぴたりと一致すること“機教相応”があって初めて真実となるということ。いくら本当の教えだと説いても聞く人が敬って聞かなければそれは真実の教えとはなりえない。阿難がこの世に生まれたのは、弥陀の本願海を聞くためであり、真実の言葉を聞くためであったということです。そして、そのことが私たちの出世本懐でもあるということです。先生は、「ただ弥陀の本願を聞く、ここが大事なところ。弥陀の本願がだれのためにおこされたか。成就とはどういうことかを聞く。それが私どもの出世本懐であると、こういうことを親鸞聖人は示されたといただかれると思うわけであります」と午前の講義を結ばれました。

さて、この研修会には午後から座談と座談発表、まとめの講義の時間がありました。座談では、「講義内容がなかなか難解でついていけなかった。」という感想もありましたが、座談ではわからないことをわかる人が懇切丁寧に解説してくれるという利点もあり、司会者の仕切りのうまさからか、どの班も有意義で活発な座談が出来ていたように思います。



座談会の様子 於教区同朋会館会議室

講義の冒頭、先生は、「皆さんの勤行が大変よくお出来になりました。日本全国広しと言えども、これほど正信偈を上手にあげられるところはありません。若干、ごまをすっておりますが、ほめることが大事、いい気分になりますからね。」とおっしゃっておられたのですが、座談発表の場では、「先生のお話が素晴らしかったので、もう一度最初から全部聞きたい。内容はよくわからなかったけど。」と、見事に返される場面もあり、参加者の笑い声に会場が盛り上がりました。その他、「三明先生の姓の“三明”は、聖典などでは“さんみょう”と読まれるのに、なぜ“みはる”なのか？」と、いう問いかけから、三明六道についてもご教授いただきました。シュリハンドク(周利槃特・周利槃陀伽)の悟りについてのお話や、明るい家と暗い家のお話が強く印象に残りました。

また、先生は役者でもあり、赤ちゃんからお年寄りまで、時には天才バカボンのレレレのおじさんの真似や詐欺師が出てきたり、安倍総理までそっくりで大うけでした。説く人・聞く人の「説聴一如」の午後の部でありました。

教務所からのお知らせ

◎法務お手伝いの募集について

新潟市中心部の御寺院で法務お手伝いのできる方を探しています。ご希望の方は教務所(Tel. 0256-33-2805 担当結城)までご連絡ください。

◎8月の得度式・臨時得度式について(お知らせ)

期日 臨時得度式 8月4日(土)
得度式 8月7日(火)
いずれも前日に説明会あり。

申込 4月1日(日)から6月20日(水)まで

注意 例年、臨時得度式に申し込みが集中し、体調を崩す受式者のため、儀式執行や日程運営に支障が生ずることがあります。

そのため、申込みがどちらかの期日に集中した場合は、受式日を変更していただく場合があります。何とぞご理解とご協力をお願いします。

◎教区行事予定表 2018年

5/12(土)	14:00	真宗学院 三条市仏教会花まつり
5/15(火)	10:00	新潟地区女性研修会(19組明誓寺)
5/16(水)	14:00	企画委員会
5/17(木)	14:00	教区改編委員会 教化センター学習会

5/18(金)	14:00	研修部会
5/19(土)	13:00 14:00	「差別と真宗」基礎講座(17組城願寺) 真宗学院
5/21(月)	14:00	「是旃陀羅」問題に関する教区学習会
5/22(火)	15:00	靖国問題研修会部門会議
5/23(水)	15:00	声明講習会部門会議
5/24(木)	10:30 14:00	若坊守・准坊守のつどい 教化センター学習会
5/25(金)	16:00 18:00	化身土巻輪読会 仏青交流研修会(三条スパイス研究所)
5/26(土)	14:00	真宗学院
5/29(火)		～31日(木)児童指導者研修会
5/30(水)	14:00 15:00	「差別と真宗」共学研修会部門会議 東北連区保育研修会実行委員会
5/31(木)	15:00	松葉幼稚園理事会

行事日程(会場)重複防止の便宜上、教区・別院主催以外の行事が一部含まれます。また、日程は変更される場合があります。

駐在教導のつぶやき

西山郷光

ちょっと前のことになってしまったが、教区通信 2017年11月号の「駐在教導のつぶやき」で、僕は最後に「仏法は言葉で伝えるようなものではないのかもしれないね。」と書いた▼その時は思ったまま書いたのであるが、書いてしまったからこのことが僕の課題となった。課題が言語化されたということだろうか▼それでこしばらく「自分の法話って、他者の機の深信の自覚に対して何か意味があるのだろうか?」みたいなことでウジウジ悩んでいた▼そんな時に法話の席も頂戴し、なおさら悩みは深まった▼そんな悩みを抱えながらネットサーフィンに勤しむ優雅な夕べを過ごしていると、ふいにこんな言葉が目飛び込んできた▼その言葉は、仕事で新しいことに挑戦することをためらう後輩に向けた激励の言葉だったのだけれど、僕は勝手にお念仏の事として聞いた▼(以下、ネットの書き込みです)▼やらない、出来ない理由を探した時点で無理▼「やらなきゃ!」「やってやる!」って思う人も難しい▼やれる人は「やれんじゃね?」ぐらいすら思っていない▼そもそも「やりたい!」って思ってる時点で「やりたい!」と思ってる自分しか作ってない▼歩き出すのに「歩くぞ!」とか「歩かなきゃ!」とか思わんでしょ?▼自分が歩けるの知ってるから歩き出すのよ何も考えないで▼それは歩けるから歩くだけで、歩けると信じてるとか願ってるとかじゃないでしょ?▼(ここまで書き込みでした)▼さて、前半はともかく、「そもそも～～」からの「歩く譬え」のところで、なにかが腑に落ちたのです▼ということを今回はつぶやかさせていただきました▼でも、腑に落ちた内容を言葉にするのはやめておきます。言葉にするとまた違ってしまう気がする▼「こまけえことはいいんだよ!」って感じでしょ?▼あ、言葉にしてしまった…▼南無阿彌陀仏

新潟親鸞学会からのお知らせ

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄 超願寺内
〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 783
Tel 025-222-2820 Fax 025-222-2830 Mail choganji@nifty.com